

# 地域医療連携推進法人設立へ

## 北海道医療新聞

4月15日  
2016年・2123号  
毎週金曜日発行  
年間購読料19,500円  
(前納/税込)

発行所  
株式会社北海道医療新聞社  
〒060-0042  
札幌市中央区大通西6丁目  
(北海道医師会館)  
TEL 011(221)7777  
www.medim.co.jp

### 道医療大とカレスサポート

## 研修・医師派遣で合意

道医療大(東郷正博理事長、浅香正博専長)と社会医療法人社団カレスサポート(大城辰美理事長)は、地域医療連携推進法人設立に向け基本契約を調印した。早ければ、来年4月にも新法人を立ち上げ、双方の得意分野を生かして、医学教育と高度医療の質的な向上を図っていく。

新法人は、医療法の一部改正に伴い、地域医療構想を念頭に置いた医療機関相互の機能分担や業務連携推進を目的に創設される。

道医療大は、付属病院の診療科が限られることから、学生の研修先が全国各地に分散していた。また、昨年12月に高齢者の在宅医療支援を目的に

地域包括ケアセンターを開設、在宅患者の急変や再入院などに対応できる医師や医療機関が必要となっていた。

浅香専長は、カレスサポートが中央区で運営する時計台記念病院で、ロリ菌外来を担当するなど、同法人とは従来からつながりが深く、大城理事長と協議を重ね、今回の新法人設立へと発展した。

新法人設立によって、時計台記念病院をはじめ、北光記念病院(東区)、昨年6月にオープンしたコミュニケーションセンター(中央区)などを活用でき、効果的な研修が可能となる。

在宅支援についても、医師派遣などを受けることで、急性期から慢性期

まで幅広く対応していく。一方、カレスサポートは、同大の研修受け入れを通じて、自施設の有効活用、職員のスキルアップのほか、各種コンディショナルスタッフの確保や看護師らの復職支援などにも役立てていきたいとしている。

研修受け入れを充実するため、診療科目の追加をはじめ、老朽化が目立ってきた病院等の建て替えも視野に入れながら、同大と協力して、地域包括ケアシステムの構築を模索していく。



基本契約調印後に握手を交わす、右から東郷道医療大理事長、浅香同大専長、大城カレスサポート理事長